

令和2年第4回総務文教常任委員会 要点記録											
開閉会日時		令和2年5月21日(木曜日)		開会	10:00		会議場所		別海町議会 委員会室2・3		
				閉会	13:32						
委員の出欠		3 番	田村 秀男	出席	5 番	外山 浩司	出席	8 番	松壽 孝雄	出席	
		13 番	中村 忠士	出席	15 番	戸田 憲悦	出席				
総務部	総務部長			総務部次長兼総務課長		総合政策課長		財政課長			
	浦山 吉人	出席	佐々木栄典	出席	三戸 俊人	出席	寺尾真太郎	出席			
	税務課長			防災交通課長		西春別支所長		尾岱沼支所長			
	伊藤 輝幸	出席	麻郷地 聡	出席	田村 康行	出席	福原 義人	出席			
	総務課主幹			総務課主幹		総合政策課主幹		財政課主幹			
	齋藤 陽	欠席	山田 哲哉	欠席	皆川 学	出席	角川 具哉	出席			
	税務課主幹			防災交通課主幹		総務課主査		総合政策課主査			
	松田 勝広	出席	深川 淳一	欠席	池田 大海	欠席	大森 圭介	欠席			
	財政課主査			税務課主査		防災交通課主査		防災交通課主査			
	佐藤 貴也	欠席	高橋 克彦	欠席	相馬 儀彰	欠席	武田 聖士	出席			
出席説明員	西春別支所主査										
	門間 勝司	欠席									
	出納室	会計管理者		出納室長							
	阿部 美幸	欠席	佐々木いずみ	欠席							
	監査委員事務局	監査委員事務局長									
	小林 由治	欠席									
	別海消防署	別海消防署長		別海消防署副署長		別海消防署副署長兼警防課長					
	山田 勝人	欠席	山桑 貴光	欠席	西塚 隆幸	欠席					
	教育委員会	教育部長			生涯学習センター建設準備室長		教育部次長兼生涯学習課長他		指導主幹		
		山田 一志	出席	山岸 英一	欠席	石川 誠	出席	住吉 幹城	欠席		
指導参事				学務課長兼学校給食センター長		学校教育課長		中央公民館長			
根本 涉		出席	宮本 栄一	出席	入倉 伸顕	出席	内山 宏	出席			
西公民館長				東公民館長		図書館長・郷土資料館長他		学校教育課主幹			
田村 康行		出席	福原 義人	出席	新堀 光行	出席	池田 卓也	出席			
生涯学習課主幹				中央公民館副館長		西公民館副館長		東公民館副館長			
戸田 博史		欠席	小村 茂	出席	木戸口 誠	欠席	立澤 雅彦	欠席			
図書館主幹				郷土資料館主幹		学務課主査		学務課主査他			
堺 啓		欠席	石渡 一人	欠席	佐藤 亮	出席	大山 晋作	出席			
学校教育課主査			生涯学習課主査		生涯学習課主査他		学校給食センター主査				
高津 寛人	出席	恒川 敦史	出席	上杉 大洋	出席	成瀬 広子	欠席				
委員外の出席		議長	西原 浩			傍聴者		0名			
事務局職員		事務局長	小島 実	事務局主幹	松本 博史						
会議に付した事件及び会議結果など											
発言者		会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。									
委員長 8番 松壽		10:00 開会									
		出席委員5名、員外 西原議長、調査期間1日									
		【教育委員会所管事務調査】									
委員長 8番 松壽		挨拶									
教育部長 山田		挨拶、経過報告及び調査概要説明									
		① 新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る教育委員会の対応について									
委員長 8番 松壽		議事1 所管事務調査について									
		(1) 第7次別海町総合計画第2次実施計画の内容について									
		資料により内容説明									
学務課長 宮本		学務課所管事業内容説明									
生涯学習センター建設準備室主査 大山		生涯学習センター建設準備室所管事業内容説明									

令和2年第4回総務文教常任委員会 要点記録

学校教育課長	入倉	学校教育課所管事業内容説明
教育部次長	石川	生涯学習課所管事業内容説明
中央公民館長	内山	中央公民館所管事業内容説明
図書館長	新堀	図書館所管事業内容説明
委員長	8番 松壽	質疑なし
		(2) コミュニティ・スクール試行の総括について
指導室参事	根本	映像により内容説明（配布資料あり）
		1 CSの背景
		2 各学校区の取組み
		3 成果と課題
		4 今後に向けて
委員長	8番 松壽	質疑
委員	13番 中村	① 新しい視点での取組みであり、意欲が伝わってくる説明であったが、これまでの生涯学習推進議会等での活動の私の経験から申し上げると、活動の後半において活動が形骸化することがあった。地域の理解がどれだけ深まってくかが課題であるとする。これまでの取組みの教訓をどう生かしていくか。どう形骸化をさせないか。取組みの目的は崇高であるが、その点について考え方を聞きたい。
		② 説明を聞いていて、整理すべき点があると感じた。地域ごとに「めざす子ども像」があり、後半部分の説明において教育委員会としての方針が示された。大人が考えるのではなく、子供に考えさせるのが大事であると私は考える。その辺りの整理が見えなかったが、どのように考えているか。
		③ 教職員と地域のかかわりを有り体に言えば、昔の先生は、地域のお祭りに参加したり、催し物で人気者になることがあった。しかし、今は、そうした参加が薄れている。その原因は、忙しいからだ。先生が地域に参加していく条件が整わなければ、きれい事を言ってもうまくいかない。最近の管理職は、週末に学校区にいない。自宅が別な地域にあることもある。絵に描いた餅とならないように注意が必要だ。
指導室参事	根本	① 形骸化を防ぐためにしっかり取り組んでいきたい。毎年度の会議に教育長が参加して方針を伝えることを考えている。今年度は、コロナウイルスの問題があり、2回目の会議に参加して方針を伝えることとしたい。また、「広報べつかい」ほかの媒体を使って、CSの活動目的や成果を伝えていきたい。形骸化を防ぐために、「めざす子ども像」を軸として、目標達成に向けてコーディネートしていきたい。
		② 子供が自ら考えることは、委員指摘のとおり重要だと感じている。この度のコロナ渦によって、家庭で子供達が自主的に勉強し切れていない問題が浮き彫りになった。よい気づきを得た。感謝している。
		③ 先生方にメリットを感じてもらうことが大切だと考えている。CSが進み、働き方改革の成果が上がっている事例もある。そうした事例を参考にしていきたい。
委員	13番 中村	④ 避難訓練が広がっているとの説明であったが、大きな市街地の学校区では、広がり切れていない問題がある。上西春別学校区のシェイクアウト訓練が継続されていない。その辺りについてどう考えているか。
教育部長	山田	④ 幅広い学年が参加する連携した取組みについては、参加規模が大きくなり過ぎると取組みにくいという課題はたしかにある。地域の特性に合わせて取り組んでもらうことが大事であると考えている。地域のコーディネート役として取り組んでいきたい。
委員	13番 中村	④ 急ぐ問題であるので、具体的に計画して取り組んでほしい。
副委員長	5番 外山	① CSは、当初1学校区、2学校区だったものが、現在は全8学校区で取り組まれており、効果を出すためには予算の裏付けが必要ではないかと考える。

令和2年第4回総務文教常任委員会 要点記録

		70万円の予算措置で十分であるのか。
		② CSが始まってから地域の変化を感じており、過去の実績も一緒に整理されて素晴らしいと感じる。中春別学区では、ポスターをつくっており、ポスターに掲載された子供を見て「この子、どこの子」と高齢者が気に掛けるなど、地域の関心が高まっているようだ。一方、「学校だより」を発行する学区と、そうでない学区がある。この辺りの課題をどう考えているか。
指導室参事	根本	① 前年度100万円であった予算が、文部科学省の先進地視察事業がなくなったため、30万円減額されている。生涯学習推進協議会と連携して予算のことについて考えていきたい。
		② （地域で努力をしていただいているが）地域住民全体にCSの周知が広がり切れていないのが実情だと考えている。各学校区の運営協議会と連携し、各種媒体を使ってさらに周知していきたい。
委員長	8番 松壽	(3) ギガスクール構想の内容及び事業計画について
学務課主査	大山	資料により内容説明
		1 GIGAスクール構想の内容
		2 補助率
		3 令和2年度事業経過・事業計画
委員長	8番 松壽	質疑
委員	13番 中村	① WiFiの環境が整っていない家庭に対する措置を行うとのことであるが、現在、地域ごとの情報格差はないと考えているのか。あるとしたら解決策は。
		② 国の事業の問題かもしれないが、一つ聞きたい。個別指導の充実が必要だが、教育は、子供の学び、育ちのためには個別指導だけでは無理であり、単純ではない。交流や学び合いなどが必要。両輪で進めるべきだが、その辺りはどう考えているか。
学務課長	宮本	① 6月補正対応に向けて学校を通じて家庭の環境を取りまとめている。情報格差については、調査結果に基づいて対応していきたい。
指導室参事	根本	② 個別指導だけではなく、学び合いが大切である。教育長も危惧しており、双方向で学べるICTを考えている。双方向ツールの活用も考慮しながら検討を進めている。
委員長	8番 松壽	(4) 北海道別海高等学校教育支援事業（寄宿施設等助成事業）について
		資料により内容説明
学務課長	宮本	1 通学補助に関する4km以上の根拠について
学務課主査	佐藤	2 寄宿施設運営委員会での協議事項について
委員長	8番 松壽	質疑なし
委員長	8番 松壽	議事2 その他
		(1) 別海町社会教育施設長寿命化計画（原案）について
西公民館長	田村	資料により内容説明
		第1章 計画策定の背景と目的
		1 計画策定の背景
		2 計画の目的
		3 社会教育施設長寿命化計画の位置づけ
		4 計画の運用機関
		5 計画の概要
		第2章 社会教育施設の状況
		1 社会教育施設の状況
		2 社会教育施設の築年別整備事業
		3 長寿命化計画の対象施設
		4 施設関連経費の推移
		5 社会教育施設の劣化状況の調査
		第3章 社会教育施設整備の基本的な方針

令和2年第4回総務文教常任委員会 要点記録

		1 社会教育施設のめざすべき姿について 2 社旗教育施設整備の基本方針について 3 施設の長寿命化に向けた改修周期の設定 4 基本的な方針を踏まえた施設整備の水準
		第4章 長寿命化の実施計画
		1 改修等の優先順位づけと実施計画 2 計画期間事業プログラムの設定 3 長寿命化コストの見直し、長寿命化の効果 4 長寿命化の継続的運用方針
西公民館長	田村	口頭による内容説明
		1 今後のスケジュールについて
委員長	8番 松壽	質問
副委員長	5番 外山	① 中春別中は、表現は「改築」であるが、実際には取り壊している。基準はどのようになっているのか。
		① 改築イコール建替えを意味している。
西公民館長	田村	(2) その他
委員長	8番 松壽	特になし
委員長	8番 松壽	
		休憩 11:50
		再開 12:59
		【総務部所管事務調査】
委員長	8番 松壽	挨拶
総務部長	浦山	挨拶、経過報告及び調査概要説明
		① 町長選挙期日前投票及び新型コロナウイルス感染症対策について ② 特別定額給付金について ③ 中小企業等経営持続化補助金について ④ 水道料金及び下水道使用料の減免について ⑤ 消毒液の無償配布の継続について
委員長	8番 松壽	議事1 所管事務調査について
		(5) 第7次別海町総合計画の見直し作業について
総合政策課長	三戸	資料により内容説明
		1 改定前及び改定後の内容について
		質疑
委員	3番 田村	① 見直しは、今回の資料の説明内容だけで終わるのか。「人口ビジョン」は見直ししないのか。
		② 個別計画については、どれくらい数があって、どのように修正の対応をしているのか。
総合政策課長	三戸	① 「第2期別海町まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定時の人口推計を使っていくこととし、「人口ビジョン」については改定しない。
		② 第7次別海町総合計画の見直しに当たって、庁内全部署に変更対象となる個別計画の有無について照会をかけた。改定前の「第7次別海町総合計画」又は「人口ビジョン」の将来人口を準用し策定した計画は、3つほどあった。「別海町特定環境保全公共下水道基本計画」「別海町学校施設長寿命化計画」「別海町公共施設等総合管理計画」である。
委員	3番 田村	① 「人口ビジョン」については、何も手をつけないということか。
		② 個別計画は、庁内でいくつあるのか。
総合政策課長	三戸	①② 全体を調べるというよりは、先ほど説明したとおり、改定前の「第7次別海町総合計画」又は「人口ビジョン」の将来人口を準用し策定した計画の有無について照会をかけたものである。
委員	3番 田村	③ 第7次総合計画の修正した箇所については、私たちや町民にその内容が行き渡るのか。

令和2年第4回総務文教常任委員会 要点記録

総合政策課長	三戸	③ 改定した内容については、ホームページで掲載していく。
財政課主幹	角川	(6) 別海町公共施設等総合管理計画について 資料により内容説明 公共施設等総合管理計画の概要 1 計画策定が必要な背景 2 計画策定の目的 3 計画の概要 4 計画見直しの予定
委員	3番 田村	質疑 ① 計画に基づきプラスの作業となる、作成しなければならない個別整備計画は、どれぐらいの数を見込んでいるのか。 ② 5年前に本計画が策定され、個別整備計画を策定しなければならないとしていたわけだが、現在策定されている計画数と策定されていない計画数を聞きたい。
財政課主幹	角川	① 「第2期別海町まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定時の人口推計を使っていくこととし、「人口ビジョン」については改定しない。 ①② 本日の午前中の調査項目であった「別海町社会教育施設長寿化計画」のほか、橋梁、上下水道、公営住宅、学校などは、すでに策定されている。児童福祉施設、社会福祉施設、地域会館などは、まだ策定されていない。例えば、計画数の質疑であったが、児童福祉施設については、児童福祉施設全体を単位とするのか、保育園を単位とするのかによってカウントの仕方が変わる。このような策定状況の中であるが、国からは、令和2年度までに作成しなさいと示されている。補助金や有利な起債を借りられるなどの条件があるため、財政課でひな形を示しながら、各担当での策定を促したいと考えて
委員	3番 田村	③ 「人口ビジョン」の文言については、修正するという考えか。
財政課主幹	角川	③ 「人口ビジョン」の数値を使っているため、引用箇所については修正していきたい。
副委員長	5番 外山	議事2 その他 (2) その他 ・ 調査項目の中で質疑漏れがあったので、質疑をさせていただきたい。
委員長	8番 松壽	・ 質疑を認める。
副委員長	5番 外山	追加質疑 ① 「第7次別海町総合計画」の見直し作業について説明があったが、合計特殊出生率の目標値が変化している。数値の出し方を知りたい。本町の出生数は、最近110名前後、5年前は140名前後であった。5年単位で減っている状況にある。出生率を上げるために、分母となる女性に対する子育て支援を本町も力を入れている。母体の数が減っているのに、出生率が増えている。その辺りの考え方を知りたい。
総合政策課主幹	皆川	① 「第7次別海町総合計画」の出生率は、「第2期別海町まち・ひと・しごと創生総合戦略」から数値を拾っている。出生数と出生率の関係性については、母体数が減っていても率が上がることはある。
副委員長	5番 外山	① 今後、私自身も調べているので、今回は質疑はここまでとする。
委員	3番 田村	① 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、地域防災計画上、避難所の運営など、マニュアルを整備しているか。
防災交通課長	麻郷地	① 現在、検討中である。備蓄に関しては、感染予防対策について検討をしている。
委員	3番 田村	① こういう状況においては、避難指示する中で「3密」を避ける行動と矛盾が生じてくる。今のうちから行動マニュアルをつくるべきなので、検討を進める必要があると思う。
総務部長	浦山	① いわゆる避難所の防疫体制については、消毒液の設置や噴霧器の配

令和2年第4回総務文教常任委員会 要点記録			
			備、仕切りをする衝立の配備など、これまで備蓄を計画していなかったものについて、マスク等を含め、今後備えていくことを計画している。備蓄計画に加え、避難所の管理や避難所までの誘導について、内容の検証を進め、補足できるものは補足していきたい。
委員長	8番	松壽	閉会挨拶 13:32 閉会
委員長	8番	松壽	